

平成29年度 事業報告書

<総括的概要>

平成29年度は、財団設立から25周年、IFI ビジネススクール開校20周年という節目の年を迎え11月7日にホテルニューオータニにおいて367名の人達と共に感謝の集いを盛大に開催することが出来ました。

一條学長の基調講演は、300名を超える方々の参加のもと、「デジタル破壊の時代をリードする」という講演テーマを皆さんで共有して頂き、懇親パーティーにおいても非常に盛り上がり来期に向けての活力とすることが出来ました。

グローバル化とデジタル化という波がファッション産業の構造そのものを大きく変え、流通まで変化させた今、経営幹部の方々と現場の方々の間で知識共有と相互理解が最も大切であると考えます。

平成23年から7年間続けてきました「ネットビジネス研究会」を平成30年度上期から「デジタルビジネス講座」としてプロフェッショナルコースに格上げして既に定員オーバーでスタートしています。

また、29年度上期から「ロジスティクス研究会」を立ち上げ多くの受講生の方々が参加され充実したコースになり30年度も引き続き好調に推移しています。

今後も引き続き、基幹コースおよび研究会をさらにブラッシュアップし充実させていきます。

お陰様で当校の卒業生は、基幹4コースで6300名を超え多くの方々が第一線で活躍されています。

このIFI ビジネススクールの卒業生たちが、イノベーションをおこし次世代のリーダーになってくれることを信じています。

平成30年度は、IFI ビジネススクールの「リスタートの年」と位置づけ、今後ファッション業界が直面するであろう課題と向き合い、各企業のニーズをしっかりと捉えながら講座編成およびカリキュラムの構成を考えて運営していく所存です。

平成29年度 事業活動概要

I. 事業実施状況

実施事業

継続1事業

基幹コース

●プロフェッショナル・コース

現場実務者向けの夜間週一回、半年間に渡る実践コース。ファッションビジネスの第一線で活躍している講師陣による講義を通して、知識を習得すると共に、グループワークによる「課題発表」などを通じて、受講生相互間のネットワーク構築が出来るコースとして評価を得ている。

平成29年度は「ファッションMDの基礎」「ファッションMDの実践A」「ファッションMDの実践B」「モノ創り講座」の3講座4コースを実施した。百貨店のバイヤーや売り場担当、アパレルのMDの他、セレクトショップ等からの派遣があった事により、「プロフェッショナル・コース」合計の年間集客予算140名に対し、148名の受講生を集客する事が出来た。

| 講座名 | 期間 | 開催日 |
|----------------|-------|-----|
| 「ファッションMDの基礎」 | 4～9月 | 月曜 |
| 「ファッションMDの実践A」 | 4～9月 | 水曜 |
| 「ファッションMDの実践B」 | 4～9月 | 木曜 |
| 「モノ創り講座」 | 4～9月 | 金曜 |
| 「ファッションMDの基礎」 | 10～3月 | 月曜 |
| 「ファッションMDの実践A」 | 10～3月 | 水曜 |
| 「ファッションMDの実践B」 | 10～3月 | 木曜 |
| 「モノ創り講座」 | 10～3月 | 金曜 |

●マネジメント・コース

ファッション関連企業の中堅幹部向けコース。戦略論、マーケティング論、H・R・M論、交渉学など、マネジメントに必要な基礎理論の授業に加え、ワークショップも取り入れた実践的なカリキュラム。対象となる多忙な受講生が参加し易い様、平日の夜間と土曜日を組み合わせた実践的な講座編成。29年度は上期のみ実施。

| 講座名 | 期間 |
|------------------------------|----------------|
| 事業改革プログラム 「既存事業の改革プランの立案」 | 5月・6月 (8日間) |

●エグゼクティブ・コース

経営者および経営幹部向けのコース。夏期セミナーは一泊二日の合宿形式。29年度は7月22・23日の2日間、ホテル ニューオータニを会場として開催。

今回は、「AI×人間による知識創造」という全体テーマに沿いながら、一條学長のファシリテートのもと、SMBCの司部長には「今後の日本経済や市場の展望」について、日本IBM(株) Watson事業部の樋口事業部長には、様々な業界でのWatsonの活用事例を参考にした、ファッション産業における新しいイノベーションの可能性について、また、オートクチュール・デザイナーの中里唯馬氏には、自身のコレクション・サンプルをお持ちいただき、「YUIMA NAKAZATOが創造する、ファッションの未来」というテーマで“クリエイション”と“テクノロジー”の融合が、未来の「衣服」の創造に繋がっていくという講義をしていただいた。

最後に、(株)良品計画の金井会長には、“無印良品のデザイン哲学「感じ良いくらし」”と題した特別講義を通して、ビジネスのデジタル化が急速に進んでいく今の時代こそ、人間のあるべき振る舞いや、心のあり方、自然と人とモノとのより良い関係など、高度成熟社会に向けた「感じ良い暮らし」がどうあるべきかを、日本にとどまらず世界の人々と一緒に考えなければならない。という主旨の、今回のセッションの総括に相応しい講演をしていただいた。

以上、講義内容の充実は勿論の事、施設やホスピタリティーについても更なるグレードアップを図った結果、受講後アンケートに於いて、カリキュラムの内容、講座運営、施設や食事面などすべての点で高い評価を獲得することが出来た。

| テーマ | 期間 |
|--|----------|
| EXC 「AI×人間による知識創造」 — ミドル・アップ・ダウンで変革 — | 7月22・23日 |

●アドバンス・コース

アドバンス・コースは特定分野のスキルアップの為ではなく、次世代のリーダー育成を目的として、「高い経営知識」「ファッション産業における必要不可欠な知識」また、イノベーションを実行する為の優れたリーダーシップやコミュニケーション能力などの「人間力」を身に着けるプログラム。

開校以来19年間続けてきた「マスター・コース」の後継コースとして、平成29年度下期スタートを目標に準備を進めてきたが、諸条件（人数、講座編成・日程等）を整える事が出来なかった為、コース内容・編成等を再構築して平成30年5月～12月までの8ヶ月間の講座スケジュールで新たにスタートする。

“三つの力”で真のプロフェッショナルを育成

| 経営リテラシー | | FB エssenシャル |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・事業と競争の戦略・ファイナンス・アカウントティング | <ul style="list-style-type: none">・マーケティング概論・ファッション・マーケティング・メディア・コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none">・ファッション MD・ブランディングの実践・ファッション・テクノロジー・サプライ・チェーン |
| 人間力 | | |
| <ul style="list-style-type: none">・起業マインドセット・イノベティブ思考・デザイン思考 | <ul style="list-style-type: none">・ファシリテーション・ディベート・プレゼンテーション・ロジカルシンキング | |

特別プログラム

●短期集中講座

特定分野を深耕する為、短期間に集中して実施する講座。ストリート・フォトグラファーのシトウレイ氏をコーディネーターに起用した「シトウレイ ファッションセミナー」の継続と、「実践VMD」も年2回に拡大した。

| テーマ | 期間 |
|--------------------------|--------------|
| ・実践ビジュアル・マーチャンダイジング | 6月、11月 |
| ・シトウレイ ファッションセミナー | 4月15日、11月30日 |
| ・e-Learning 「素材の基礎知識」 | 随時 |
| ・e-Learning 「洗濯・保管の基礎知識」 | 随時 |

●地方開催講座

プロフェッショナル・コースの内容を凝縮し、5日間に集約して大阪（ドーン・センター）で開催。

| | 期間 |
|---------|--------------|
| ・大阪開催講座 | 5～6月、10月～12月 |

●大学講座

「ファッション人材の育成事業」の産学連携プロジェクトとして、大学の学部にはファッション・ビジネスの基礎講座を単位付で設置し運営した。平成29年度は7大学8講座。

| 大学名 | 学部 | 講座名 |
|--------|--------------|--------------------------|
| 青山学院大学 | 青山スタンダード教育機構 | 感性ビジネス講座 ファッション産業のフロンティア |
| 青山学院大学 | 青山スタンダード教育機構 | 感性ビジネス講座 ファッション・ビジネス戦略論 |
| 明治大学 | 商学部、全学部共通 | ファッション・ビジネスの実際 |
| 東京経済大学 | 経営学部 | 産業特論Ⅰ・ファッション・ビジネス論 |
| 同志社大学 | 経済学部 | クリエイティブ産業論 |
| 目白大学 | 社会学部 | ファッション・ブランド戦略論 |
| 横浜市立大学 | 国際総合科学部 | ファッション・ビジネス戦略論 |
| 首都大学東京 | 都市教養学部 | 経営学特殊講義・ファッション産業の現在 |
| 計 | | 7大学 8講座 |

継続2事業

●アドバイザー・ボード

I F I が運営する講座の内容や運営手法について、意見やアドバイスを具申・提案する委員会。平成29年度は、11月7日に開催した「感謝の集い」や今後の新講座開発に向けての、様々な意見・アドバイスをいただいた。

●調査・資料収集

図書および資料の収集並びに一般への公開

ファッションビジネスの調査・研究に有益な図書並びに資料等を収集し、広く一般に公開しているが、さらに内容を充実するため、講師の書籍やファッション誌などを増強。夜間コースのプロフェッショナル・コース受講生の活用が増加した。

その他事業

他1事業

●カスタムメイド・プログラム

カスタムメイド・プログラムは、企業や団体の要望に応じ、それぞれが抱える課題を克服するための最適なカリキュラムを構築し、研修で改革を進め、初期の目的を達成していくプログラム。

他2事業

●調査・研究事業

1. 「I F I 繊維ファッションビジネス研究会」

繊維ファッション産業を取り巻く環境が大きく変化しようとしている中で、“旧来の常識を打ち破るイノベーション”が、各業種の各段階で求められている。I F I では、このような環境の変化や業界のニーズにきめ細かくスピーディに対応するため、平成23年度からその時々旬な情報を提供し講師と共に課題について考える「研究会」を立ち上げ平成29年度末迄でのべ68回の講演を積み重ねて来た。この研究会は1年間の会員制で10回の講演会と2回の交流会で構成される。会員数は前年度の53社から54社に増加した。

| | 会員 | 開催 |
|-------------------------|-----|-----|
| 「I F I 繊維ファッションビジネス研究会」 | 54社 | 10回 |

「I F I ネット・ビジネス研究会」

ECに於ける購買行動の主流がスマートフォンになりつつあり、いつでもどこでも買い物ができるようになった。しかし、販売サイトとしては大手プラットフォーム型事業と自社独立サイトとの格差が広がってしまっているのが現状であり、また他業種では既に一般化しているIT化やAIなどのテクノロジーを活用したFashion Techについても、ファッション業界のEC市場では十分な効果を上げているとは言えない状況である。以上のような現状を踏まえ、この研究会では「市場に適したサイト運営とWeb戦略」をテーマに、各社の事例を通して今後求められるウェブ戦略および消費行動の変化への対応を学ぶ。

| | |
|---------------------|----|
| | 開催 |
| 「I F I ネット・ビジネス研究会」 | 6回 |

「I F I ロジスティクス研究会」

オムニチャネル時代をむかえ、企業戦略として今後不可欠なのがロジスティクスの戦略である。この研究会では、ファッション企業のロジスティクスの現状と課題を明らかにすると共に、自社・3PL各社の取り組みを共有。下期は物流センター見学も研修に取り入れながら毎月1回のカリキュラムで実施。

| | |
|--|-----|
| 「I F I ロジスティクス研究会」 | 開催 |
| 「IoT時代のバリューチェーン構築のために」 「グローバルデザインをどう描く？」 | 11回 |

●情報提供事業

1. 人材マネジメント懇話会の開催

繊維ファッション企業の人事担当者を対象に、その時々に関心が高いテーマや、話題企業の第一人者を講師に招いて旬の情報や問題意識を共有すると共に、講演後の交流会では、自由闊達に意見交換を行い、人事担当者同士のネットワーク創りに努めた。29年度は2月1日に、地元墨田区の企業3社を含めた17社の人事担当者が参加し、明治大学大学院の野田稔教授に、「AI時代の人材マネジメント」というテーマで講演頂いた。

●交流・協力事業

1. 墨田区との共同事業の推進

墨田区は当財団の最大の出捐元であり、地元の繊維ファッション企業も多くが出捐している。

その墨田区との連携を一層強化するため、「墨田区・IFI連絡協議会」において「ファッション産業人材育成支援事業」（授業料補助）の制度を活用して地元企業に還元した。さらに「すみだ次世代経営研究協議会」に委員として参加したほか、地元の東京ニットファッション工業組合（TKF）に、IFIがどのような貢献ができるかについて意見交換した。

2. 繊維ファッション産学交流会議への参加

繊維ファッションに関わる企業と学校関係者との交流を深めるため、「繊維ファッション産学協議会」にIFIも加盟しており、理事長が同協議会の理事を兼務。

3. 日本ファッション産業協会

アパレルやハンドバック、靴、寝装具など13団体で構成する「日本ファッション産業協議会」にIFIも参画。業界横断的な人材育成事業委員会を担当。

4. 日本プロフェッショナル販売員協会

消費者ニーズが多様化・高級化する中で、ブランドを差別化して更なる業績の向上を図るには、消費者に商品の価値を伝える販売員の役割が重要。その地位向上を図る目的で設立された同協会に於いて、会員企業から派遣された販売員のためのスキルアップ講座を推進。